2026 年 3 月 30 日

2025 年度　学校関係者評価報告書

学校法人国際総合学園
長岡公務員・情報ビジネス専門学校
自己点検・評価委員会
学校関係者評価　専門部会委員会

学校法人国際総合学園 長岡公務員・情報ビジネス専門学校自己点検・評価委員会「学校関係者評価」専門部会委員会は、2025 年度自己点検・自己評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施致しました。以下のとおり、報告致します。

１.「学校関係者評価」専門部会委員

・本校専門分野における業界関係者
阿部 正喜 氏　　株式会社第一印刷　常務取締役
・本校卒業生
栗原 達勇 氏
・本校校長
鈴木　栄一　　学校法人国際総合学園 長岡公務員・情報ビジネス専門学校
・本校校長の指名する者
池田　保紀　　学校法人国際総合学園 長岡公務員・情報ビジネス専門学校
鈴木　隆志　　学校法人国際総合学園 長岡公務員・情報ビジネス専門学校
片野　史高　　学校法人国際総合学園 長岡公務員・情報ビジネス専門学校
吉澤　裕和　　学校法人国際総合学園 長岡公務員・情報ビジネス専門学校

２. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価
１：教育理念・目的・目標	・学校創立から目標等の一貫した指導が評価できる。 ・変化の激しい社会へ対応できる人材の育成を期待する。
２：教育課程、教育の実施、学習成果	・ＩＴ、ビジネスマナー等については十分な知識が身に付いている。より実務に沿った内容を検討していくことで、企業のニーズに合った学生を輩出して欲しい。 ・コミュニケーション能力の向上を図る授業は全学科に必要である。身に付ける実習などが今以上にあると良い。 ・各種資格の取得は十分に成されているが、より実務に則した内容が増えることが望ましい。 ・各学科が幅広く学んでおり、様々な職種で活躍できる人材を育成していると思われる。
３：学生の受入れ学生支援	・学科により学生の目的意識に差があるように感じられる。 ・日本学生支援機構、ＮＳＧ奨学金等と言った奨学金での支援に加えて、学校独自の学費減免制度の 2 本建で学生支援を行なっている点は評価できる。 ・就職活動における学生支援も評価できる。

４：教育実施組織・教員	・今後も実践的な教育に力を入れて欲しい。 ・必要とされる知識技術も年々変化してきているため、業界で活躍できる人材を輩出して欲しい。 ・座学が中心になりがちな学科も見られるが、今以上にインターンシップなどを充実させ社会性を身に付ける仕組みを作って欲しい。
５：教育環境	・パソコン室や、教室は十分である。またタブレットを活用できる環境も整っており今後の有効活用が期待できる。 ・学習環境とその有効活用が重要である。
６:教育活動の基盤と改善・向上の取組	・本学は、ＮＳＧグループの専門学校群の一員であり、財務に関しても本部経理部が一元管理している。 ・地域社会との共生と言う視点から、様々な地域活動等に参加している点は評価できる。 ・年間を通じてのボランティアや、公的機関からの依頼による各種ポスター等の制作など、積極的に参加していることは評価できる。可能な範囲で継続して欲しい。

３．学校関係者評価 全体的な総括

項目	評価
自己点検・自己評価報告書を見ての全体的な意見	・地域に根づいた学校として評価されている。 ・時代のニーズに合わせた大胆な変革も必要。社会のニーズに応えられる人材を輩出していただきたい。 ・スペシャリストの育成の留まらず、人間力育成を行なうという方針は継続すべきである。

以上